

第2学年 数学科② 図形と面積・容積

『図形の基本・多角形』 教科書：36 ページ

1. 多角形とは？

直線だけで囲まれた図形を多角形といいます。
多角形には 三角形 四角形 五角形などあります。



ここがポイント！

曲がった線が入っていたりすると多角形にはなりません。
注意しましょう。

2. 三角形や四角形などは何でそう呼ばれるの？

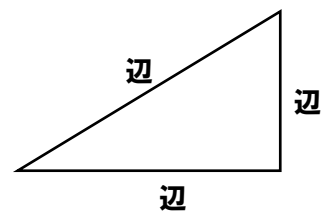
- 三角形は、辺の数が 3つ あり、角の数も 3つ ある ものを三角形という。
- 四角形は、辺の数が 4つ あり、角の数も 4つ ある ものを四角形という。
- 五角形は、辺の数が 5つ あり、角の数も 5つ ある ものを五角形という。
- 六角形は、辺の数が 6つ あり、角の数も 6つ ある ものを六角形という。



ここがポイント！

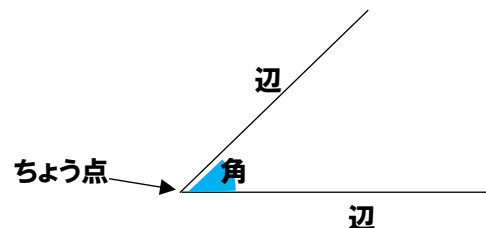
文章の中に辺と角という言葉がでてきたね。

「辺(へん)」というのは、三角形や四角形などのまわりのひとつひとつの直線を「辺」といいます。



かどのところは「ちょう点」というから覚えておこう。

「角(かど)」というのは、1つのちょう点からでている2つの辺がつくる形を「角(かど)」といいます。

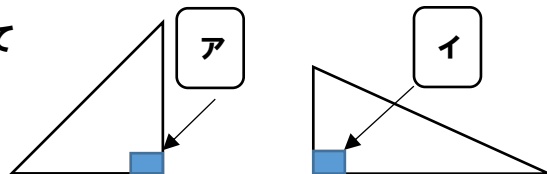


1. 直角とは？

直角

紙を2つにおり、次に折り目を合わせて もう一度折って
できた 角の形を 直角 といいます。

三角定規の ア, イ のかどは、直角です。



角がみんな直角で辺の長さがみんな同じ四角形を正方形といいます。



角がみんな直角になっている四角形を長方形(ちょうほうけい)といいます。



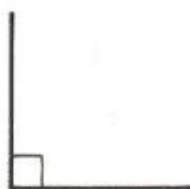
1つの角が直角になっている三角形を直角三角形といいます。



2. 角(角度)の大きさの求め方を覚えよう。

(1) 角度の基準

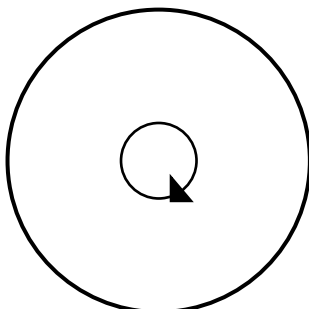
○直角は、 90° (度)



○半角は、 180° (度)



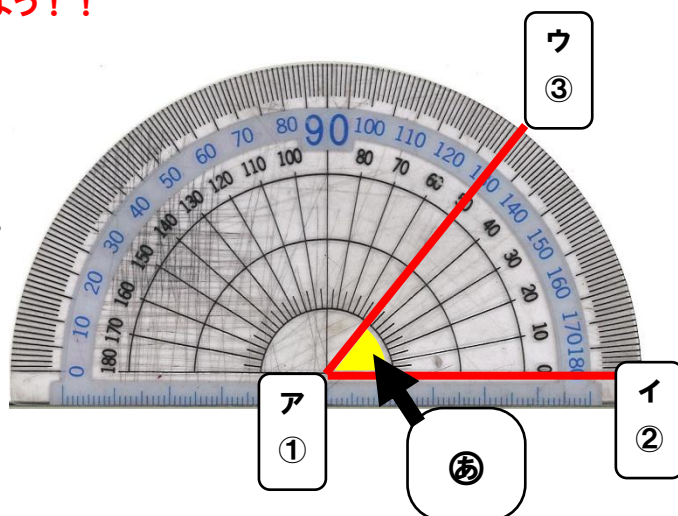
○円は、 360° (度)



(2)分度器の使い方

㊦の角度を求めるために番号の順番で通りやってみよう！！

- 1, 分度器の中心を ちょう点 ア に合わせます。
- 2, 分度器の 0° の線 を 辺 アイ に合わせます。
- 3, 辺 ア ウ に重なっている分度器の目盛りが角度の大きさになります。



㊦の角度は、 50° （度）となります。



ここがポイント！①

分度器には、内側の目盛りと外側の目盛りがあり、どちらの目盛りで測って良いのか分からなくなってしまう時があります。

そんな時は次の事をしっかり気を付けて問題に取り組んでみよう。

- 1, 問題でどここの角度を求めるように言われているのかをよく確認しよう。
- 2, 分度器の中心を しっかり ちょう点 に合わせ、 0° の基準線から数えて測っていこう。

ここがポイント！②

分度器の種類にもよりますが、主流の分度器に測れる角度は 180° までです。

180° 以上測る時は主に2つのやり方があります。

- ① 問題で求める角度の反対側を測り、 360° から 引き算をする方法
- ② 180° まで測り、 足りない角度を 180° に 足し算する方法

があります。

どちらが自分に合っているのか、チャレンジして合っている方で、取り組んでいこう。